



# 海上安全だより

海難“0”を目指して！！

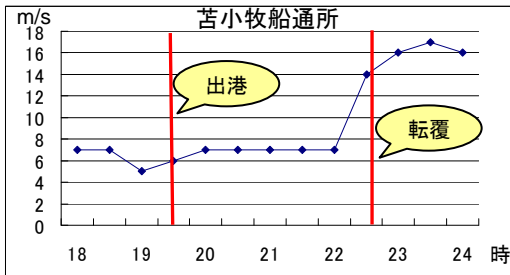
第一管区海上保安本部

交通部

平成22年2月 No.7

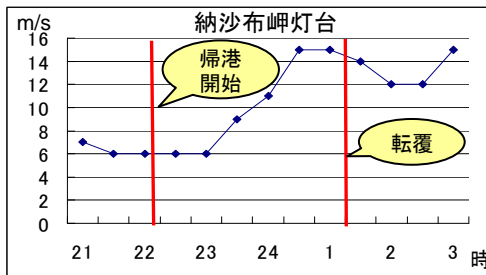
過去5年間の冬期（11月～2月）においては、気象海象不注意による海難が全体の約2割を占めています。このうち総トン数20トン未満の小型船が8割を占めます。特にこの時期、局地的に天候が急激に悪化しますので、最新の気象・海象の情報入手に努めて下さい。

## 気象海象不注意が原因の海難時の風速の変化(海上保安庁 MICSデータより)



H21年12月11日

【苦小牧港プレジャーボート転覆 6名死亡】



H19年10月26日～27日

【厚岸沖漁船転覆 7名救助】



↑【H19年10月27日厚岸沖漁船転覆】

## 海上警報

気象庁が発している海上警報の基準は次のとおりとなっております。各警報の発表基準に達しているか、または24時間以内に達すると予想されるときに発表されます。

海上風警報	海上で風速が13.9m/s以上17.2m/s未満。
海上強風警報	海上で風速が17.2m/s以上24.5m/s未満。
海上暴風警報	・台風の場合は、海上で風速が24.5m/s以上32.7m/s未満。 ・温帯低気圧の場合は、海上で風速が24.5m/s以上。

～最新の気象・海象の情報入手に努めて下さい～

## 沿岸域情報提供システム(MICS)

30分毎に灯台で観測した気象や海上工事情報、漁網情報、潮汐などの情報を、携帯電話やパソコン、テレホンサービスなどで入手できます。

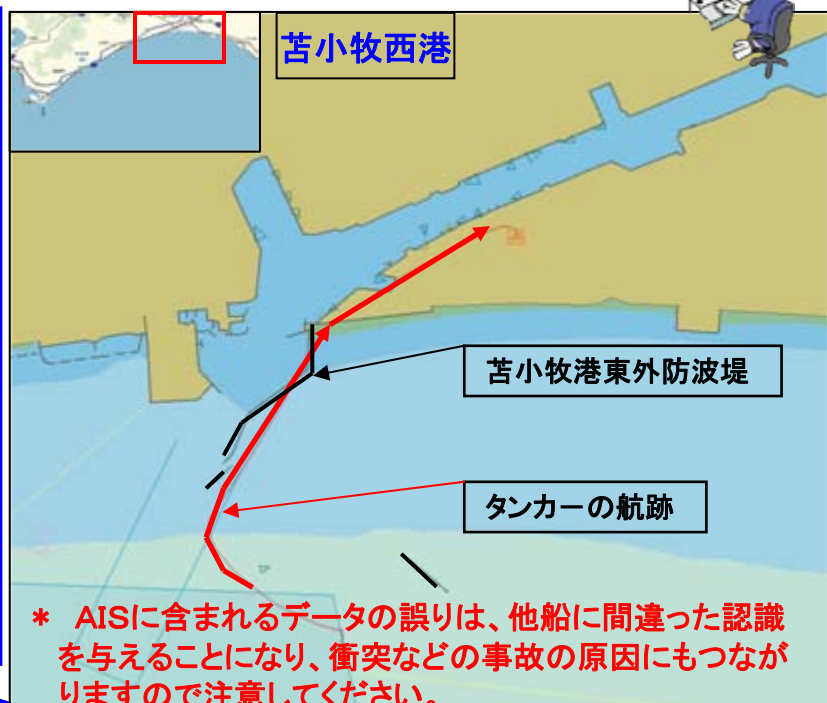


携帯用  
QRコード

## (事例) 苦小牧入港船のAIS情報 船位ずれ

平成20年12月11日、苦小牧港へ入港する日本船籍タンカー（総トン数：747トン）のAIS装置による航跡が苦小牧港東外防波堤上を横切り、西港区岸壁上を航走しているのを確認しました。

該船に対し船舶電話で船位の確認を求めたところ、AIS情報に含まれる船位データに問題があり、その原因がAIS装置の測地系が世界測地系(WGS-84)となっていなかった事であると判明したため、すみやかに測地系を修正するよう指導し、その後適正表示を確認しました。



\* AISに含まれるデータの誤りは、他船に間違った認識を与えることになり、衝突などの事故の原因にもつながりますので注意してください。

## AIS搭載船舶へのお願い

- (1) AIS装置の電源は常時ONにし、操作方法を確認しておきましょう。
- (2) 自船の位置情報、航海関連情報を正確に入力しましょう。
- (3) AISメッセージの受信時に、受信音が聞こえるようにしましょう。
- (4) 連絡手段確保のためVHF(CH16)を常時聴取しましょう。

ご要望、ご意見は第一管区海上保安本部交通部まで

TEL 0134-27-0118

(内線：2615、2623)

次号へ続く～